

郡内領主 小山田氏の足跡をたどる

所要時間(往復)

徒歩 3時間

車 40分

都留市

中世の郡内地域は、^{おやまだ}小山田氏が支配していた。小山田氏は、武蔵国秩父郡(埼玉県秩父市など)の豪族秩父氏の出身とされる。現在の都留市・富士吉田市を中心として、大月市猿橋の地域までも支配していたと考えられる。



③⑦ 谷村城跡(谷村館跡)

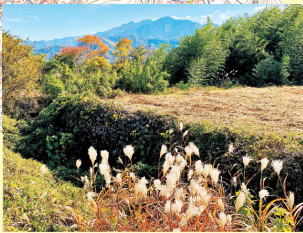
③⑦ 谷村城跡(谷村館跡)
やむらじょうあと やむらやかたあと
小山田氏の居館。享祿年間(1528~1532)に中津森館が火災にあったため、この地に居を移したとされる。現在の谷村第一小学校は小山田時代の館の範囲であったと考えられる。

③⑤ 中津森館跡
なかつもりやかたあと
小山田氏が谷村に館を移す以前の居所とされる。現在の用津院から桂林寺にかけての一带に館があったと考えられている。デイ堀と呼ばれる堀などが残る。



③④ 小山田氏墓所

③④ 桂林寺
けいりんじ
鎌倉建長寺の僧・格智禪師がこの地へ臨濟宗の布教に訪れた際、小山田氏が帰依し創設した。小山田氏伝世の板碑(都留市指定文化財)や、小山田氏の墓が残る。



③⑤ 中津森館跡



③⑧ 勝山城跡

③⑥ 長生寺
ちやうせいじ
小山田信有が羽根子村(現在の下谷地区)の山間に建立した。信有の画像(県指定有形文化財)、小山田信茂寺領書立文書(都留市指定文化財)などを所蔵する。



③⑥ 長生寺

④⑩ 長安寺
ちやうあんじ
谷村城の南東に位置し、小山田氏の別邸があったとされる。小山田氏の滅亡後、天正十三年(1585)に残っていた建物を寺院にしたという。本堂は県指定有形文化財。



④⑩ 長安寺

③⑨ 勝山八幡神社
かつやまはちまんじんじや
応永三年(1396)、小山田氏が勝山城に正八幡宮を奉斎し社殿を造営。文禄三年(1594)に浅野氏重が勝山城から現在の位置へ移したとされる。郡内領主である鳥居氏・秋元氏も篤く信仰した。



③⑨ 勝山八幡神社

③⑧ 勝山城跡
かつやまじょうあと
小山田氏が中津森から谷村へ館を移す際に、要害として築城したといわれる。発掘調査により、本丸防御のための堅堀などが見つかっている。天正十年(1582)に小山田氏が滅亡すると、浅野氏により石垣や櫓の建設など、大規模な修築が行われた。その後、郡内地域は鳥居氏・秋元氏が治めた。現在残る縄張りには浅野氏の修築以降のものと考えられる。県指定史跡。